

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	平成30年度第4回和泉市市民活動支援制度判定会
開催日時	平成31年1月30日（水） 午後2時から3時まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 1階 小集会室
出席者	黒田会長、湯川副会長、青山委員、笠井委員、小泉委員 事務局（藤原総括主幹、松下主事）
会議の議題	支援対象団体の実績報告にかかる審査について
会議の要旨	1. はじめに 2. 支援対象団体の実績報告にかかる審査 3. その他・事務連絡
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の形式：公開 ・ 傍聴人：0人 ・ 議事録の公開：有り

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（事務局より開会のあいさつ、資料、会議の流れについての説明、委員全員出席）

【事務局】

公民協働推進室の松下でございます。実績報告書の提出がありました7団体について、まとめてご説明させていただきます。

まずお配りさせていただいております資料について、ご説明させていただきます。資料1につきましては、各団体への交付決定額の一覧でございます。今回、提出がありました団体につきましては、黄色を付けさせていただいております。団体番号が3、7、18、22、25、28、30番の7団体でございます。

次に資料2につきましては、当初予算と決算の内容が比較できるようにまとめさせていただいている資料でございます。

次に資料3につきましては、判定をしていただく資料といたしまして、各団体の総事業費や交付申請額、届出額等を記載させていただいており、各団体の実績内容が適正であるかを判定いただくシートとなっております。

それでは、各団体の実績内容につきまして、ご説明させていただきます。

団体番号3 のぞみ野街づくり推進委員会でございます。

事業の内容といたしましては、地域において人間関係が希薄化することを防ぐことを目的とし、年齢差を越えた地域住民の交流の場を設けることとされています。

事業の成果といたしましては、模擬店等の出店、また歌や踊りを参加者が楽しみ、また歌や踊りに関しては出演者にとって発表の場ともなったとのこと。災害募金も行われ、ボランティアの啓発にもなりました。会場一体となって催しごとを楽しむことで交流も生まれ、活力ある町づくりのきっかけづくりになったといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算について主に変わった部分を中心にご説明させていただきます。

収入の部につきまして、支援金が143,420円減額し、それに伴い支出を減らしています。

支出の部につきまして、報償費が当初予算額800,000円に対し、決算額が558,460円となり、241,540円の減額となっております。減額の主な理由といたしましては、支援金の減額により、出演者を減らしたことが主な要因でございます。

印刷製本費につきましても、予算額180,000円に対し決算額が50,000円となり、130,000円の減額となっております。減額の主な理由といたしましては、予算の都合上、デザインを団体で作成し、印刷のみを業者に依頼したことによるものです。

以上が実績報告の主な変更点でございますが、その他の収支も含めて事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号7 ミータスコア・グループ未来でございます。

事業の内容といたしましては、「宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2018」を実施しており、2008年までは文化協会主催により実施されておりました「第九」演奏会がなくなってしまったことから「市民自身の手による市民のための「第九」」を和泉市に根付かせ、この「第九」をきっかけに、クラシック音楽の楽しさを味わっていただく場づくりと和泉市の文化芸術風土の更なる醸成を目的に事業を実施されました。

事業の成果といたしましては、老若男女問わない、市民の参加度の高い形での演奏会を実施することにより、クラシック音楽の楽しさを味わうことができ、和泉市の文化芸術風土の醸成に貢献する事業となったとしており、また、今後の課題といたしましては、更なる認知度アップのためのPR活動とともに音楽構成等の内容面の一層の充実を引き続き図っていくことといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算について主に変わった部分を中心にご説明させていただきます。

収入の部につきまして、支援金が237,538円減額したことに対し、その分、チケット売り上げの増加を図り、参加者数を増やすことにより会費を増額したり、協賛金を得るなど事業収入を増加することでカバーする一方、支出の見直しも図られています。

次に支出の部でございますが、報償費が当初予算額790,000円に対し、決算額が701,000円となり、89,000円の減額となっております。減額の主な理由といたしましては、出演構成員、人数が変わったことによるものです。

また消耗品につきましても、当初予算額21,000円に対し、決算額が4,715円となり、16,285円の減額となっております。減額の理由といたしましては、既存のものを使用により、購入費の削減を実現したことが主な要因でございます。

次に印刷製本費につきましては、当初予算額40,000円に対し、決算額が24,600円となっております。15,400円の減額となっております。減額の理由といたしましては、より安価に業者に依頼したことによるものです。

次に、役務費につきましては、当初予算額20,000円に対し、決算額が8,692円となっており、11,308円の減額となっております。減額の理由といたしましては、資料のやりとりの回数を減らし、通信費を抑えたことによるものです。

最後に使用料・賃借料につきましては、合計で申し上げますが、当初予算額465,000円に対し、決算額390,382円となっており、74,618円の減額となっております。減額の理由といたしましては、練習会場の見直しや練習回数が1回減ったことによるものです。

以上が実績報告の主な変更点でございますが、その他の収支も含めて事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号18 子育てサロン ふれんどでございます。

子育て中のお母さんと児童を対象にしたもので、小さな子どもを連れて公共の交通機関を利用するの遠出が難しい現状に対し、貸切バスを用意し、子どもが小さいうちにこそ連れて行って体験させたい身体遊びやアート遊び、自然遊びが出来る場所へ一緒に出かけるというものです。子どもの育成やお母さん同士の交流やリフレッシュ・情報交換の場作りに貢献する事業となっております。

事業の成果といたしまして、11月14日に貸切バスで15人の親子がプレヴィル天王寺公園に行き、親子でいろいろな遊びを体験できたほか、子育て世代の親同士の交流、情報交換もできたことを報告いただいております。

続きまして、収支決算についてですが、子育てサロン ふれんどに関しましては、収入支出ともに減額しているものの、概ね予算どおりで、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号22 松尾連合地車連絡協議会でございます。

事業の内容といたしましては、地域住民のつながりが希薄になり、祭礼参加者も減少しつつある状況において、だんじりのPR活動を実施し、減少傾向にある祭礼参加者を増やすことで伝統文化であるだんじり祭りを後世に継承し、また安全で清潔な祭り運営を行うことで祭りに対する理解を得ることを目的としています。

事業の成果といたしましては、ティッシュの配布やポスターの掲示を実施したことで、だんじり祭の魅力をより広く伝え、また警備員の配置などを行い、安全なだんじり曳行運営の一助となることで、だんじり祭りへの理解を得ることができました。だんじり祭りを通じた地域交流の促進や、美化運動の啓蒙に繋がったと報告いただいております。

続きまして、収支決算について主に変わった部分を中心にご説明させていただきます。

収入の部につきまして、支援金が445,318円減額したことに対し、その分、ほぼ同額の各町からの会費・分担金の増加を図り、補われております。

次に支出の部でございますが、印刷製本費につきましては、啓発物の発行部数をみなおしたことにより、当初予算額1,205,000円に対し、決算額1,025,000円となっており、180,000円の減額となっております。

委託料につきましても、台風の影響により、試験曳きが中止になり、警備委託が1日減ったため、また領収書未収分があるため、当初予算額328,000円に対し、決算額140,000円となっており、188,000円の減額となっております。

以上が実績報告の主な変更点でございますが、その他の収支も含めて事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号25 いぶき野夏祭り実行委員会でございます。

事業の内容といたしましては、新興住宅地の多いいぶきの地区において、住民となって日が浅い住民を中心に、近所づきあいのきっかけを作り、和泉市に対する郷土愛を育むため、いぶきの地区において夏祭りを開催するものとなっております。

事業の成果といたしましては、8月18日にいぶき野自治会館及びいぶき野小学校校庭にて、平成30年度いぶき野夏祭りが開催されました。2,000人と、例年より多い来場者があり、踊りや出店を楽しまれました。小さな子どもを連れた若い家族づれも多く見られたとのことです。子ども達を中心に、和泉市をふるさととして愛する心が育ってきていると報告いただいております。

続きまして、収支決算について主に変わった部分を中心にご説明させていただきます。

いぶき野夏祭り実行委員会におきましては4月当初に変更申請がありまして、いぶき野夏祭りの会場運営にかかる費用と、イベント・出店にかかる露店等の費用を分離されまして、当事業においては会場運営にかかる費用のみで実績報告をいただいておりますので、変更申請時と実績報告時を比較し、資料2の比較表も作成させていただいております。

出店運営などの細部は地元自治会を中心とした出店者に別会計として任せ、当団体の担当分を、会場設営やゴミ処理など夏祭り運営の大枠のみとしたことによるもののため、事業としましては概ね計画どおりの規模で行っていただいております。

まず、収入の部につきまして、自主財源が47,021円減額しております。

支出の部につきましては、イスなどのイベント用品のレンタルから設置まで含んで委託するため委託料としていたところ、レンタルのみで団体等で設置を行い、使用料及び賃借料となり費目が変わったため、委託料と使用料及び賃借料で支出が増減しております。

また、印刷製本費のチラシ印刷代につきましては自費作成いただいたということで、実績報告におきましては計上されておられません。

以上が実績報告の主な変更点でございますが、その他の収支も含めて事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号28 コーラスグループぶどうの木でございます。

事業の内容といたしましては、東日本大震災について、メディアで放送される部分以外のことを知る機会も少なく、ボランティアしようにもやり方が分からないといった人たちに対し、コーラスを取り入れた一歩進んだボランティアの形を示し、また報告することで、和泉市における災害への啓発を行うものとなっております。

事業の成果といたしましては、4月27日から30日にかけて、福島県南相馬市にて、現地の方とコーラスを交えた交流を行い、現地の様子の視察や現地の方の生の声を聞き、9月15日に行われたアイ・あいロビー教室にて震災ボランティア体験の報告、11月17日に行われた和泉市ボランティア・市民活動フェスタにて、コーラスとともにその体験を訪れた人に報告する舞台発表を行いました。現地の様子や声を和泉市に届けたことにより、参加者は、ボランティア活動があってこそその復興があるのだと実感する声や、ボランティア活動の啓発に大いに役立ったと報告されています。

続きまして、収支決算について主に変わった部分を中心にご説明させていただきます。

収入の部につきまして、いずれの費目におきましても、金額が減額しております。

支出の部につきまして、消耗品費のインク・用紙は昨年度等の余った分を使用したため、実績においては計上されておられません。また、使用料及び賃借料のレンタカー借上料につきましてはレンタルしたのが短時間で1台であったため当初予算額100,000円に対し、決算額5,5

56円となっております、94,444円の減額となっております。

以上が実績報告の主な変更点でございますが、その他の収支も含めて事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号30 一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会でございます。

事業の内容といたしましては、障がいをお持ちの方に対する福祉について社会的な配慮が進んでいるが、まだまだ交流などの機会が少なく、障がい者や障がいというものについての理解が進まない現状に対し、障がい者が自主的に参加するイベントハートフルフェスタを行い、障がいの有無の垣根を越えて一緒に楽しんでいただき、市民の障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参画への一助とするものとなっております。

事業の成果といたしましては、11月20日に弥生の風ホールでハートフルフェスタが開催され、障がいのある方の日頃の活動の成果発表の場として歌やダンスが行われ、ゲストも迎え、イベント後半には当事者・支援者・ボランティア・一般参加者のみんなが舞台にたち、創り上げるイベントとなり、障がいの有無の垣根を越えて一緒に楽しんでいただくことを通し、市民の障がい者に対する理解が深まったことをご報告いただいております。

続きまして、収支決算について主に変わった部分を中心にご説明させていただきます。

収入の部につきまして、支援金が176,452円減額したことに対し、その分協賛金の増加を図られていますが、全体としては145,852円の減額となっております。

それに伴う形で支出の部のほとんどの費目におきまして、創意工夫を図る形で少しずつ減額されております。

以上が実績報告の主な変更点でございますが、その他の収支も含めて事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

以上、実績報告の提出がありました7団体の概要でございます。

事務局と致しまして、これらの団体より提出された実績報告書及び事業報告書、収支決算書を精査させていただいた結果、対象事業を適正に遂行されたものと解しております。

これをもちまして、実績報告のありました7団体についての説明を終わらせていただきます。

【会長】

ありがとうございます。それでは1団体ずつ審査に入りたいと思います。まず団体番号3「のぞみ野街づくり推進委員会」についてご意見やご質問ありましたらお願い致します。

【委員】

(意見、質問なし。)

【会長】

それでは団体番号3「のぞみ野街づくり推進委員会」について認めるということによろしいか。

【委員】

異議なし。

【会長】

それでは団体番号3「のぞみ野街づくり推進委員会」について認めます。

次、団体番号7「ミータスコア・グループ未来」について何かご意見やご質問はありますか。

【委員】

参加費が15,000円から67,000円に上がったのですね。

【事務局】

はい。会員外合唱団参加費が増額しております。

【委員】

1 団体参加費はいくらですか。

【事務局】

内訳は提出していただいておりますが、今手元がないので後ほど確認します。

【委員】

分かりました。

【会長】

支援金が減った分を事業収入で賄っているのですね。

【事務局】

はい。

【会長】

他に何か意見や質問はありますか。

【委員】

(意見、質問なし。)

【会長】

それでは団体番号7「ミータスコア・グループ未来」について認めるということによろしいか。

【委員】

異議なし。

【会長】

団体番号7「ミータスコア・グループ未来」について認めることとします。

次、団体番号18「子育てサロン ふれんど」について何かご意見やご質問はありますか。

【委員】

(意見、質問なし。)

【会長】

それでは団体番号18「子育てサロン ふれんど」について認めるということによろしいか。

【委員】

異議なし。

【会長】

それでは団体番号18「子育てサロン ふれんど」について認めることとします。

次、体番号22「松尾連合地車連絡協議会」について何かご意見やご質問はありますか。

【会長】

以前に比べて支援金の額が少なくなっていますね。しかし、その中で活動の周知等について工

夫されているみたいですね。

【事務局】

はい。啓発物を配ったり、だんじりの時以外にも清掃活動をされたり、商業施設で鳴物披露を行ったりなど日頃から市民の理解も深められ、当日も安全な曳行ができるようしっかり警備されていると報告をいただいております。

【委員】

松尾連合さんは色々と活動してくれていますね。認知症サポーターの講習を受けてオレンジ色のリングを付け、だんじりを曳いていたのが新聞に掲載されているのを見ました。

【会長】

それでは団体番号22「松尾連合地車連絡協議会」を認めるということによろしいですか。

【委員】

異議なし。

【会長】

それでは団体番号22「松尾連合地車連絡協議会」について認めることとします。
次、団体番号25「いぶき野夏祭り実行委員会」について何かご意見やご質問はありますか。

【会長】

費目変更で委託料と使用料及び賃借料で入れ替わった結果になっていますね。問題はないと思います。団体番号25「いぶき野夏祭り実行委員会」を認めるということによろしいですか。

【委員】

異議なし。

【会長】

それでは団体番号25「いぶき野夏祭り実行委員会」を認めることとします。
次、団体番号28「コーラスグループぶどうの木」について何かご意見やご質問はありますか。

【委員】

収支予算書の時の参加費が一人20,000円と記載されていますが、決算書では20,000円、10,000円、5,000円と金額が異なっているのは理由があるのですか。

【事務局】

現地で途中合流した方もいらっしゃるのと、参加者の中に子どももいたので、金額が違っていると聞いております。

【会長】

他にご意見やご質問はないですか。

【委員】

(意見、質問なし。)

【会長】

団体番号28「コーラスグループぶどうの木」について認めるということによろしいか。

【委員】

異議なし。

【会長】

それでは団体番号28「コーラスグループぶどうの木」について認めることとします。
最後、団体番号30「一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会」について何かご意見やご質問はありますか。

【会長】

当団体はちよいずに初めての参加されたのでしょうか。

【事務局】

はい、初めてです。

【会長】

分かりました。他にご意見やご質問はないですか。

【委員】

(意見、質問なし。)

【会長】

それでは団体番号30「一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会」について認めるということによろしいか。

【委員】

異議なし。

【会長】

団体番号30「一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会」について認めることとします。

では、今回申請のありました、団体番号3、7、18、22、25、28、30番についての実績報告を認め、支援金額を認めるという結果になりました。全体を通して何かご意見等ございましたらお願いします。

【委員】

(意見等なし。)

【会長】

以上で、実績報告にかかる判定を終了します。事務局の方は、各団体に対して手続きを行って下さい。では、次第3その他事務連絡について、事務局からお願いします。

【事務局】

それでは今後のスケジュールについてご報告させていただきます。資料4をご覧ください。平成30年度と31年度について分けて説明させていただきます。

まず、平成30年度ですが、第4回判定会が本日、7団体を審査していただきました。次に、第5回目の判定会が3月28日で19団体を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

次に、平成31年度のスケジュールについて説明させていただきます。2月1日から2月28日の間で届出期間があり、2月の広報紙に団体紹介冊子や選択届出用紙を全戸配布させていただいております。また、2月3日に和泉市公民協働推進室と市民活動団体の有志団体で啓発イベントとしまして、エコールいずみのアムゼ広場でちよいずフェスティバルを行います。3月下旬に選択届出の結果報告をさせていただきます、選択届出結果を公表した後、変更交付申請の受付をさせ

ていただきます。提出がありました場合、4月の中頃に第1回判定会、変更交付申請の審査を予定しておりますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。また、参加団体との意見交換会も予定しておりますので、ファシリテーターとしての参加のほうもよろしくお願いいたします。以上になります。

【会長】

ありがとうございます。これにて本日の判定会を終了したいと思います。次回の判定会におきましてもご出席のほど、よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございました。